

「Itoshima手しごととサローネ」 東京日本橋三越本店で開催

12月16日～22日

「NPO法人いとひとつと」が糸島の作り手たちの“こだわり”を紡ぐ

◎糸島のクラフト作家（陶磁器・木工・織り・藍染・版画・ガラス・金属工芸）と糸島食材の加工品業者が出展

- 単なる展示即売会や物産展ではなく、作り手と直に接し、その「こだわり」を知り、「仕事」を感じ取れるイベント
- 糸島の「人」「作り手の思い」「創りだされるモノ」…つまり「糸島の暮らし」の全体イメージを露出

◎2000年以上も前から稲を作り、管玉などの装飾品を作ってきた土地に、今も多くの作り手が導かれ、つながる

- 新規就農者は合併後5年間で83人
- 伊都菜彩の出荷者数1,516人（H27年3月末時点）
- 市内の工房は120以上
- 音楽家、写真家、画家などのアーティストや料理人も集う

◎日本橋三越本店は江戸時代の呉服屋にルーツを持つ老舗。日本の百貨店の「はじまり」として強力なブランドカ

- 会場は、昨年3月に「カルチャーリゾート百貨店宣言」を行った三越本店7階の「はじまりのカフェ」
- 文化、物、人に触れて物事の始まりを体験できる空間
- 会場選定は、**糸島市東京事務所サービス**

◆手しごととサローネ概要

- 事業主体：NPO法人いとひとつと（代表：桑野陽子さん）
※「いとしま応援プラザ」の指定管理者
- 補助事業：平成27年度 全国商工会連合会・小規模事業者支援パッケージ事業
（地方公共団体連携型広域展示販売・商談会事業補助金）
- 補助額：2,500万円
- コンセプト
糸島で営まれるたくさんの「手しごと」が日々の暮らしを支え、育み、新しい絆を生む
- 糸島と東京で発信
1 糸島クラフトフェス
2 手しごととサローネ
- 冊子でも発信
42組の作り手の手しごとに関する物語を紹介



↑糸島クラフトフェス

ロゴマーク⇒



「いとひとつと」の独自企画において、会場の選定という課題解決を**東京事務所サービス**が支援

地方創生の動きの中、市民主導で、モノだけでなく、人、暮らし、文化に光を当てるのが意義深い1

いしまたピックス

①ふるさと応援寄附インターネット利用で好調

11月2日の開始から3週間で1,170万円の寄附

早速、効果を発揮

- インターネットでの情報拡散と手続きの簡素化
- クレジットカード決済とポイント制の導入
- 返礼品の充実（こだわりの糸島産品）

- 地元産品の売り上げ向上・認知度アップにも貢献
- 東京で開催された「東京糸島ふるさと会」でも新しいデザインとなったパンフレットを配布し寄附を依頼



地道なシティブロモーションによる認知度向上という素地があるからこそ



今後もコアな糸島ファンを増やし、糸島をより良くするための寄附をお願いする

②九大寺子屋 児童に好評。九大生を身近に感じる

九大生の努力と創意工夫が児童の向学心を高める

次回開催は12月12日（土）
11:45～保護者も参観

◆九大寺子屋（福岡県広域連携プロジェクト事業）

学生が自らの研究分野を児童に分かりやすく教える「ダビンチャイム」と、児童の国語・算数ドリルを学生が補助する「チャレンジタイム」で構成。今年度は、加布里小学校の3、4年生を対象。

【過去5回の参加児童対象アンケート結果】

- 88%の児童が、「とても楽しかった」と回答
- 80%の児童が、「とてもよく分かった」と回答



(写真左)
船の話

(写真右)
宇宙の話